

栃木県立図書館は、宇都宮市中心部にある栃木県庁の東側高台に建つ、県内公共図書館の中核的施設です。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、さまざまな感染防止策がとられてきましたが、2021年末、UV-LED 光触媒装置 UVish（ユービッシュ）が設置され、より徹底されたウイルス抑制・除菌対策が行われています。

県立図書館は1910年に開設された「二宮文庫」を母体とする110年を超える歴史をもつ施設。所蔵資料は約77万冊と県内最多で、特に栃木の地域資料の収集に力を注いでいます。高い専門性をもつ司書による調査相談対応など、“知”のサービスを提供するとともに、県内公共図書館の中核的図書館として市町立図書館への支援・補完をすることで県全体の図書館サービスの向上に努めています。



【物件概要】

所在地：栃木県宇都宮市埴田1-3-23
 規模・構造：鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階建
 敷地面積：4,785.62㎡
 建築面積：1,684.17㎡
 延床面積：5,319.62㎡
 導入：2021年12月

ウイルス抑制・除菌と脱臭機能をもつ UVish（ユービッシュ）が、クリーンで快適な空間を創出。

栃木県立図書館は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、臨時休館や一部サービスの休止・縮小などさまざまな対応をとり、入館者数は年間約3万6千人（2020年度/前年度比53.8%）と大幅に減少したものの、資料の貸出総数ではコロナ禍前を上回る利用がありました。

これまで入口でのアルコール消毒と検温、館内でのマスク着用、滞在時間の短縮などを入館者をお願いするとともに、設備面では閲覧の座席を減らしてアクリルシールドを設置したほか、利用者が自由に使え

る図書除菌機も導入しました。また、職員による返却本の消毒や館内アルコール消毒を徹底するなど、さまざまな対策がとられてきました。

そして2021年12月より、利用者が長時間同一席に滞在する1階学習室と地階の読書活動支援室に、ウイルス抑制・除菌脱臭用UV-LED光触媒装置UVishが設置されました。個人用学習スペースとして利用される学習室では3卓の大机に各1台ずつ、子どもの読書に関する資料を豊富に揃えた読書活動支援室内に2台配置され、より安心して利用できるクリーンな空間づくりに貢献しています。



地階の読書活動支援室 読書用テーブルの上に置いたウイルス抑制・除菌脱臭用UV-LED光触媒装置UVish①は卓上タイプなので利用状況に応じて配置場所の移動も可能。



1階学習室 学生の利用が多い学習室では、大机1卓につき1台のUVish①を配置。



読書活動支援室 案内カウンター上に移動したUVish①

主な掲載器具一覧

設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
屋内	①ウイルス抑制・除菌脱臭用UV-LED光触媒装置UVish	CSD-B03	5	消費電力：静音13W、標準14W、パワフル16W